

国会にも諮らずに派遣を決定 自衛隊は中東から ただちに撤退を！

1月3日には米国が、国際法違反の先制攻撃で、イランの司令官らを空爆し殺害。イランは、7日、イラクにある米軍基地をミサイル攻撃、報復しました。国際世論もあって、現在は少し落ち着いていますが、いつ、何が起こるかわからない緊張状態が続いています。

そもそも、中東の緊張の原因は、「イラン核合意（＝イランが核開発しないことを条件に経済制裁を解除する約束）」からトランプ政権が離脱したことです。

日本は、1月にp3 哨戒機 2 基を、2月2日には海上自衛隊の「たかなみ」を派遣、計 500 人以上の自衛隊員を送っています。もともとイランと友好関係にあった日本が、アメリカの要請に応じて自衛隊を派遣したとなれば、アメリカに加担する「有志連合」への参加とみなされ、中東地域の緊張をますます高めることとなります。今、日本が行うべきは、トランプ政権に「イラン核合意」への復帰を促し、憲法9条に基づく対話外交を進めることであり、自衛隊派兵ではありません。しかも、こんな大ごとを国会にも諮らず、閣議決定だけで決めています。国会軽視・憲法無視の暴挙です。自衛隊はただちに撤退すべきです。

2月2日、護衛艦「たかなみ」に乗りこむ自衛隊員



国会できちんと説明を！ 政治の私物化

「桜を見る会」 公職選挙法違反 政治資金管理法違反

「桜を見る会」をめぐる疑惑は深まるばかり、もはや犯罪という他ありません。世論調査では、「首相は説明していない」という声が7～8割。国民は徹底究明を求めています。政治と税金の私物化、証拠隠ぺい、公文書の破棄・改ざん、国会軽視、ウソの答弁など、民主主義を根底から破壊する大問題です。

国会軽視、冒涇の政権に「憲法改正」させるわけにはいきません！

「桜を見る会」を言うまでもなく、IR疑惑国会で答弁できない閣僚、首相自身がヤジやデマを口にする国会。そして、新型肺炎への初期対応のまずさなど、なんという政治のありさまでしょうか。政治の責任が大きく問われています。

安倍首相は自分の任期中、2021年秋までに憲法9条を変えようと意気込んでいます。

こんなデタラメだらけの政権に国の在り方の中心、「憲法改正」など言う資格はありません。

安倍首相の政治責任を問う世論と、9条改憲阻止の広がりをつないで、アベ政治を終わらせましょう。

・野党共闘で安保法制を廃止するオールみやぎの会 022-393-6223

・宮城県内九条の会連絡会 022-728-8812

・戦争政策反対宮城県民連絡会 022-234-1335

・県民運動連絡会みやぎ 080-8206-3511

・安倍改憲 NO! 憲法を生かす全国3000万署名推進センターみやぎ 080-8206-3511

国会を軽視、冒涇する政治を変えよう！